Rec'd PCT/PTO 29 DEC 2004

·			
REC'D 10	JUN	2004	
WIPO		PCT	

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

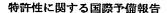
(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 OP2003-026	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/08306	国際出願日 (日.月.年) 3	0.06.2003	優先日 (日.月.年) 01.	07.	2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' C12N15/00-90, C12N1/00-7/08, C07K14/00-16/46, C12P21/00-08					·
出願人(氏名又は名称) 岡田 秀親					
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。					
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	含めて全部で _	5 ペーシ	がらなる。		
3. この報告には次の附属物件も添付され a	3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a				
補正されて、この報告の基礎 田及び/又は図面の用紙 (P)	とされた及び/又 CT規則70. 16及0	はこの国際予備審査機関 『実施細則第607号参』]が認めた訂正を含む 飛)	明細書、	請求の範
■ 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙					
b X 電子媒体は全部で ディスク1枚 (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテープルを含む。(実施細則第802号参照)					
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。					
 ※ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 第 I 欄 優先権 第 I 欄 優先権 第 I 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 I 欄 発明の単一性の欠如 ※ 第 V欄 P C T 3 5 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 VI 欄 ある種の引用文献 第 VI 欄 国際出願の不備 ※ 第 VI 欄 国際出願に対する意見 					
国際予備審査の請求啓を受理した日 09.01.2004	国際予備審査報告を作成した日 20.05.2004				
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号		特許庁審査官(権限の 阪野 誠司 電話番号 03-35		4 N	9286

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/08306

第I欄	報告の基礎	·			
1. ح	の国際予備審査報告は、下記	記に示す場合を除く	ほか、国際出	顧の言語を基準	礎とした。
	この報告は、 それは、次の目的で提出さ PCT規則12.3及び23 PCT規則12.4にいう PCT規則55.2又は55	された翻訳文の言語で 3.1(b)にいう国際調 の国際公開	である。 査	:.	•
2. この た差替:	の報告は下記の出願書類を基 え用紙は、この報告において	基礎とした。 (法第 て「出願時」とし、	6条(PCT この報告に添	14条)の規定 付していない。	定に基づく命令に応答するために提出され 。)
×		•			
	明細 書 第 第 第	ページ、 ページ*、 ページ*、	出願時に提出	出されたもの	_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	間求の範囲 第 第 第 第	項、 項*、 項*、		出されたもの 条の規定に基っ	づき補正されたもの _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの - 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	図面 第 	ページ/図、 ページ/図*、	出願時に提は	出されたもの	_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの ・ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第 型列表又は関連するテープ 配列表に関する補充権	翼を参照すること。			- 付けで国際予備審査機関が受理したもの
3. [_]	補正により、下記の書類が				
	□ 明細書 第 第 ま	ぎ ぎ 成すること)	載すること)	_ ページ _ 項 _ ページ/図 	
4 . 🗌	えてされたものと認められ	,たように、この報告 ,るので、その補正か	号に添付されか ぱされなかった	¹ つ以下に示し こものとして作	った補正が出願時における開示の範囲を越 作成した。 (PCT規則70.2(c))
	関細書 第 請求の範囲 第図面 第 配列表(具体的に記載 配列表に関連するテー	す。 なすること)	載すること)	- ページ - 項 - ページ/図 -	<u>. </u>
* 4.	に該当する場合、その用紙に	こ "superseded" とi	記入されるこ	とがある。	



国際出願番号 PCT/JP03/08306

(見解		
新規性(N)	請求の範囲 <u>1-6</u> 請求の範囲	
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲 1-6	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 <u>1−6</u> 請求の範囲	

文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1: WO 97/22361 A1 (OTSUKA PHARM CO LTD) 1997.06.26 & JP 09-227409 A & EP 0870509 A1 & US 6190863 B1

文献2:岡田 則子 他, 糖鎖抗原GM2に対するヒト型IgM抗体の抗HIV活性, 名古屋市立大学医学会雑誌,1999,第50巻,第1/2号, p.9-13 文献3:Wu Xiaoshan et al. The IgM antibody level against ganglioside GM2

correlates to the disease status of HIV-1-infected patients. Microbiology and Immunology, 2000, Vol. 44, No. 5, p. 405-410

文献4: Noriko OKADA et al. Human IgM monoclonal antibody to ganglioside

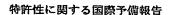
GM2 and complement suppress virus propagation in ex vivo cultures

of lymphocytes from HIV-1 infected patients.

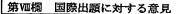
Microbiology and Immunology, 1999, Vol. 43, No. 7, p. 723-727

請求の範囲

文献1-4には、補体の活性化を介してHIV感染細胞を溶解させる糖鎖認識抗体 であるGM2に対するIgM型ヒトモノクローナル抗体が記載されている。上記請求 であるGMとに対する1gM空に下モノクローナル抗体が記載されている。上記請求の範囲に係るモノクローナル抗体は、文献1-4に係るモノクローナル抗体と比べて、補体の活性化を介してHIV感染細胞を溶解させるという機能において差違が見られないことを考慮すれば、上記請求の範囲に係る発明は、文献1-4に係るモノクローナル抗体の代替物を得、その核酸配列を特定したに過ぎず、当業者であれば容易に成し得たものと認められる。したがって、上記請求の範囲に記載された発明は、文献1-4によれた方式といる。上記請求の範囲に記載された発明は、文献1-4によれた方式といる。 献1-4により進歩性を有さない。



国際出願番号 PCT/JP03/08306



請求の範囲、明細魯及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細魯による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲 1-4

請求の範囲1、2に記載されたモノクローナル抗体は、機能によってのみ特定されており、また、請求の範囲3、4に記載されたモノクローナル抗体は、H鎖或いは上鎖のどちらか一方の可変領域の核酸配列のみにより特定されている。一方、これらのモノクローナル抗体として明細書に開示されているものは、例えば、H鎖の可変領域が配列番号2の核酸配列を有するとトIgMモノクローナル抗体、或いは、寄託番号FERM BP-8379であるにトIgMモノクローナル抗体のみであり、これら以外のモノクローナル抗体にどのようなものが請求の範囲1-4に係るモノクローナル抗体に含まれるか、即ち、どのような抗原と結合するか、どのような構造を有しているか、どのような加胞株から産生されるか等が不明である。

したがって、上記請求の範囲に記載された発明は、明細書によって十分に裏付けられているとはいえないし、当該技術分野の専門家が実施することができる程度に明確かつ十分に開示されているとはいえない。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/08306

配列表に関する補充欄					
第 I 欄 2. の続き					
1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき国際予備報告を作成した。					
a. タイプ	×	配列表			
		配列表に関連するテーブル			
b. フォーマット		春 面			
	×	コンピュータ読み取り可能な形式			
c. 提出時期		出願時の国際出願に含まれる			
	×	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された			
		出願後に、調査又は予備審査のために、この国際機関に提出された			
		付けで、この国際予備審査機関が補正*として受理した			
2. × さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。					
3. 補足意見:					
		•			
		<u>.</u>			
		·			
*第I欄4.に該当す	る場合、	差替える配列表又は配列表に関連するテーブルに "superseded" と記入されることがある。			